

2019年度全Aネット窓口事業所会議 議事録

と き：2019年6月29日（土）11:00～12:00

ところ：日比谷図書文化館 プロント

出席者：久保寺一男（神奈川）、加藤裕二（千葉）、中崎ひとみ（滋賀）、萩原義文（岡山）、石頭悦（岩手）、臼井崇晃（東京）、小林俊介（新潟）、西駄亮貴（静岡）、石野英司（大阪）、山内民興（奈良）、羽原吉教（和歌山）、竹光道治（山口）、井上靖（福岡）

議 題：

1. 各県支部からの報告

①呼称について

「窓口事業所」でなく、「各県連絡先」として統一する。

②各県のA型協議会等の状況について

団体が成立した都道府県は千葉、東京、神奈川、新潟、愛知、滋賀、大阪、和歌山、岡山、広島、山口、福岡、熊本となっている。

③各県からの報告

滋賀：6月に総会、研修会を行った。会員の要望があり、具体的な支援の方法をテーマとした。

静岡：まだ組織が出来ていない。まずは「集まろう」という話をしている。

山口：3か月に一度、研修会を行っている。

福岡：5/25に勉強会、10/14に全大会を行った。熊本と合同で勉強会を予定している。

岡山：6/22、セミナーを行った。250名参加し、各地方自治体、厚労省、中島慶應大教授も参加した。事業所数は現在の155くらいから140くらいに減ると適正ではないかと思われる。

千葉：月に一度、役員会を行っている。6/19に総会と共に利用者参加の「しゃべり場」を開催した。11月にも「Aフェス」を開催予定である。

和歌山：定時総会を7/6に行う予定であり、中崎氏の記念講演が行われる。

大阪：昨年度は協議会に110事業所が参加した。県全体では330事業所から50事業所程減っている。秋頃に研修会を予定している。

神奈川：年3回、研修会を行っている。前回は萩原さんに来ていただいた。よろしくないが大きい事業所があり、対応を考えていきたい。

新潟：36か所が参加している。年に1回、事業所を視察する勉強会を行っている。

東京：24か所が参加しているが、昨年はほとんど活動できていない。

奈良：この2年間で社会福祉法人のA型が減ってきている。2か月に1度勉強会を行っている。奈良県と話し、協議会を作る方向で動いている。まずは全事業所回りたいと思っている。

岩手：昨年は他団体の立ち上げに従事していた。今年は勉強会を開催予定。A型は4か所程閉鎖があった。「儲かる」というだけの勢いで開所し、1年でやめているような事例が見受けられる。

2. HPについて

- ・都道府県からのお知らせは、逐一利用お願いしたい。
- ・FACEBOOKのページを作成した。主にイベント配信に利用していく予定である。
- ・HPのスライダー事業所紹介が5か所程しかないため、参加お願いしたい。

3. 全Aネット会費の徴収の提案について

・徴収について

各支部で全国会費+支部会費で徴収、名簿と共に全国会費を入金してもらえば可能であるが、各県の負担が大きくなってしまう。したがって、各県で全Aネットへの加入を薦めて頂きたい。

各県の協議会の立ち上げについては、研修会などを機に、1年に3か所ずつ程度増やしてきた。今後も続けていきたい。また、支部のない県については近隣の県に個別に立ち上げの手伝いをお願いしたい。

4. その他

質問：「協議会」は本来、行政も一緒に活動すべきである。そもそも全Aネットにおける「協議会」の意味合いはどのようなものか。

回答：各県の自主性に委ねている。全Aネットが立ち上がる前から活動していた県もあり、統一は難しい。ただ、都道府県との折衝はどんどん行って頂きたい。その際に全Aネットの名前を使って頂きたい。

意見：各県、行政が積極的でない。働きかけと情報開示をもっと行っていくべき。

質問：経営改善計画が進んでいるが、これに対する好事例はないか。また、未達成に対しての処分などは行われているのか。各地方の例としてどうなっていますか。

回答：改善計画に対する好事例の報告はないが、全Aネットの8月2日のセミナーで好事例集は配布予定である。

回答2：岡山県はフォローが出来ている。ただ1年での改善は難しい。2, 3年は必要。企業とのマッチングにポイントがある。

回答3：東京・岡山・沖縄・福井は研修会や事業所訪問（支援）に国の予算がついている。但し、各県の協議会等が一緒に動き、応援する必要はある。また、県が国の補助事業を受託しなければ始まらない。